

輝け！ 一小っ子 No.5

発行者 校長 上村哲也

コロナの長期休業 その時子どもたちは何を思ったのでしょうか

6月22日（月）より、ようやく通常登校となりました。子どもちも徐々に新しい学校生活に慣れ、落ち着きを取り戻しつつあります。

さて、およそ2か月続いた長期休業は誰にも経験のない出来事でした。その間、子どもたちはどのような思いで過ごしていたのでしょうか。そんな思いが知りたくて、5・6年生を対象として「川柳コンテスト」（学校長主催）を催したところ、多くの作品が寄せられました。その中から優秀作品をご紹介します。いろいろな角度から休業を見て率直な思いを寄せてくれました。子どもたちの豊かな感性をお楽しみください。

最優秀作品**コロナくん 君が活動 自粛して 5年 NK**

世の中を苦しめているコロナに、まさか降参したわけではないでしょうが……。with（ウィズ）コロナなどと言われていることを捉えたのでしょうか、コロナの恐ろしさをユーモラスに「…くん」づけで表現し、そして、誰しも耳にたこができるほど聞いている「自粛」を…君に求めています。誰もが納得できる思いを巧みに表現した作品で、思わず苦笑いをしてしまいました。

優秀作品**私服より 早く着たいな 体そう着 6年SR**

毎日の服選びは大変。体育好きなのでしょ、運動したくてたまらない様子です。

優秀作品**コロナ禍で 景気と宿題 反比例 6年SH**

大人は景気子どもは宿題が気になります。その時反比例のグラフが浮かんだのでしょうか。

優秀作品**妹と 遊んでマットに 穴があく 6年UR**

妹思いのいいお兄さんです。家族も助かります。でも、穴はどうなったのでしょうか。

優秀作品**学校の 必要性を 分かる日々 6年YA**

勉強、友だち…他にもいろいろあるでしょうか。職員にとって励みになる作品です。

優秀作品**おうち時間 何かやろうと もう終わり 6年SS**

やり尽くしてあれこれ悩んだのでしょうかね。ため息が聞こえてきそうです。

優秀作品**いのってる あってほしいと 夏休み 6年HY**

その気持ちよく分かります。同じ休業でも気分がまったく違いますね。短いけどあります。

優秀作品**時間わり 作って実行 三日間 5年TR**

計画的な学習がどれほど難しいかを上手に表しました。まさに三日坊主ですね。

優秀作品**お父さん マスク外すと ひげぼーぼー 5年IK**

ひげが濃いお父さんなのでしょうか。きっとみんなで大笑い。楽しそうな光景です。

優秀作品**自分家 メダカは学校 うらやましい 5年AS**

メダカを見て語りかけたのでしょうか。学校への愛着を感じる一句です。

優秀作品**自粛中 外には出れず 出るのは課題 5年HY**

たくさん課題が出ました。気の毒な気がします。家で頑張っていた姿が浮かびます。